

藻場の保全・回復対策の実施状況について

1 磯焼けの状況



2 磯焼けが発生・継続する要因

様々な要因が考えられるが、本県沿岸においては食害の影響が大きい。

…水温上昇→植食動物の活発化・分布拡大・繁殖助長

漁業者からは高水温の影響を心配する声がある。

…水温上昇→成長不良

3 磯焼けの拡大防止/磯焼け域における藻場の回復

(1) 藻場消失実態調査・対策指導（平成 29 年度～）

地区ごとに海藻及び植食性魚類等の分布状況と藻場衰退の原因を調べ、漁業者に各地区の状況に応じた藻場回復の取組を指導。

(2) 漁業者による藻場の保全・回復対策への支援（令和 3 年度～）

漁業者による植食性魚類等の駆除や海藻の胞子供給の取組を支援。

…人的資源の不足対策として地区間の協力体制を推進

(3) 磯焼け対策会議（令和 3 年度～）

関係者が連携して効率的かつ効果的な対策を講じるため、漁業関係団体等を構成員とする「磯焼け対策会議」を開催し、藻場の実態把握や回復手法等について協議。

藻場のモニタリング

→磯焼けの兆候を早期に察知



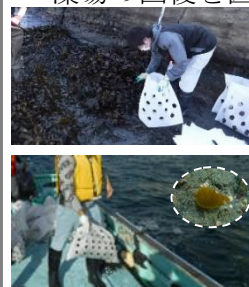
刺網等による植食性魚類駆除

→食害を防止



海藻の胞子供給

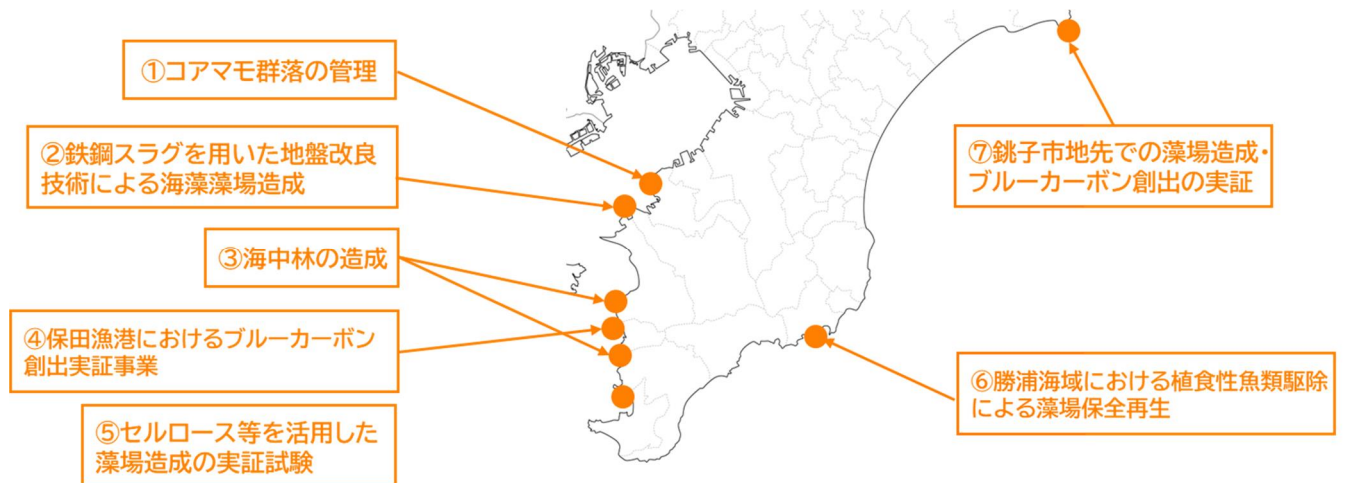
→藻場の回復を図る



4 ブルーカーボンに関する取組の推進

企業と連携したブルーカーボンの取組を推進するため、漁業団体や経済団体等を構成員とする「千葉県ブルーカーボン推進協議会」（令和6年度設置）を核として、取組の拡大を図っている。

<主な連携事例>



○海域での取組以外に、以下のような取組も実施



植食性魚類を活用した定食提供
(令和7年10月)



植食性魚類（勝浦産ブダイ）を使用した
惣菜の学校給食での提供（令和7年11月）

5 今後の取組

- ・藻場のモニタリングと漁業者の取組への支援を継続
- ・高水温に強い海藻の種苗試験
- ・植食性魚類の活用を促進
- ・ブルーカーボンの取組を拡大させるため、協議会を核として民間企業など多様な関係者の参画・連携を進める